

令和3年度

第2回加賀市地域公共交通会議

第2回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日時 令和3年8月20日（金）  
午後13時00分～  
場所 オンライン会議

令和3年度  
第2回加賀市地域公共交通会議  
第2回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日 時 令和3年8月20日（金）  
午後13時00分～  
場 所 オンライン会議

1 開会

委員紹介・会議成立報告（略）

**事務局**

（事務局説明）

- ・路線図と利用状況の説明

**会長**

ありがとうございます。今、観光客はコロナの状況で少ないですけども、コロナ後にたぶんトラベルバブルが起こるだろうと、それに対応して賑わいを取り戻す、あるいは、それ以上の賑わいを作るということで、今のうちに準備をしておこうということで、ご紹介ございました。

それでは本日の議事に入りたいと思います。

本日の議事は、2つでございます。1つは乗り合い号の運行変更の内容の詳細ができあがりました。これを事務局からご報告していただき、ご意見をいただいて、審議をしたいと思います。それでは事務局、ご説明をお願いします。

**事務局**

（事務局説明）

**会長**

ありがとうございます。詳細にご説明していただきました。

乗り合い号の一つは増便、そして、新設ですね。そして他の公共交通手段との連携による公共交通の利用者さんの比率を増やすという方向での改善案のご提案でした。詳細に改善されていらっしゃるのです、何か始めると必ず課題が出ます。その課題をしっかりと使って改善していくという形で、また事業を拡大するという気がしました。それでは、ご質問、ご意見いただきたいと思っています。どなたかいかがでしょうか。

**委員**

まず普通の便につきましては我々が終わって市へ乗り合いタクシーを、市全体でやるということで終わったのですが、そのときに、乗り換え共通エリアの同時到着、同時出発、その間に乗り

換えが短時間でというものを宿題にして、お願いしていたのですが、あれから6年でようやくそれに近い形ができたなということで、ようやく実現したということで、ほっとしています。

ちょっとわからなかったのが、横断便、資料1の2枚目ですか、乗降できる施設というところ、エリア3のところを勅使地区というのがあって、松山と河原の2つだけ書いてあるのですが、このへんがどうなのでしょう。要は勅使地区でこの2つだけ利用できますよと、2つの町だけが利用できますよ、という解釈でいいのかということ、それがわからない点ということで以上です。

#### 会長

はい、ありがとうございます。ご提案していたことが形になってよかったですね。そして、横断便については、なかなかいい発想ですよ。いくつかご質問がありましたので、事務局いかがですか。簡単にもしおわかりでしたら、お答えしていただくとありがたいと思います。

#### 事務局

はい、ありがとうございます。ご指摘のエリア横断便についてですが、エリア横断便は、その経路上にある特定の施設から乗車できるという設定をしておりますので、委員がおっしゃった、勅使地区ですと松山町町民会館前、および、河原町のコミュニティセンター前、この2つから乗車できるというような認識をしていただければと思っております。その他のところは、この経路上から少し地区の中に入ってしまっていて、まわるとけっこうな時間がかかってしまっていて効率性を担保できないということで、まず第一に、こういったところの設定をさせていただいておりますので、皆様にはご迷惑かけることもあるかもしれませんが、乗れるところまで出ていただくか、あるいは通常便のほうを改善しておりますので、そちらのほうをご利用いただくようお願いしたいと考えております。

#### 会長

はい、ありがとうございます。もう一方、ご意見いただきたいのですけれども、増便のほうで通勤通学のサービスの向上という目的にありましたが、何かご意見ございましたらお願いします。

#### 委員

乗り合い号の概念についてはバスを補完するものということで、だいたいわかったんですけども、山中・山代から大聖寺間、あとちょっと少ないんですけど、塩屋・大聖寺駅間、片山津・加賀温泉駅間というのが生徒の利用の多いところ。我々教員のほうも加賀市のバス路線のところについては実際ちょっと不案内というのが現状でして、乗り合い号に関しても同じです。ただ、学校の授業とかでまちに出ていくときに、今、学校の教員というのは子どもを乗せていくというのは部活動以外乗せられないので、たとえば授業で行くときに、ここで乗り合い的なのがあったほうがいいなあと思うことがたまにあります。そういったときに、何か利用できたり、あと路線があるからそれを利用するというのではなくて、高校に来るときこんなニーズがあるからこんな路線欲しいなっていう話を、中学校とか高校とかを含めてやっていかなきゃいけないのかなと思います。うちの学校の場合は9割が加賀市の中学校から来ていますので、そのへんはやりやすいと思いますし、やっぱり痒い所に手が届くというのが、こういった乗り合いバスを含めた、細かいところの長所であると思うので、そのへんまた加賀市のほうと時期をみて話を、学校の

利用実態と子どもの声あるいは、教員の声としてこんなのあるといいなというところを何かお伝えしていけたらというふうに考えています。

#### 会長

はい、ありがとうございました。

いいコメントありがとうございました。痒い所に手が届くということでバスと、乗り合い号と、それぞれの手段がうまく調和するようというところで、ニーズを話し合おうというご提案でした。事務局で吸い上げていただいて、またあるタイミングで話し合う機会をお願いいたします。

それではもう一つのテーマがありましたので、乗り合い号についてはこれで終了したいと思えます。ここで承認していただいてよろしいですか。それでは、ご承認ということでいきたいと思えます。

増便にしても、横の展開にしても、エリア横断便にしても、だんだん利用者さんの顔がわかるようになっていくといいですね。顔がわかって使い方がわかるとそれを発信することによって利用者さんが増える。そしてみんなが外へ出ていくという、スマートシティになっていくといいなと思えました。ありがとうございます。

それでは次のテーマです。次のテーマは、地域公共交通計画の策定についてです。昨年に続いて見させていただいたら、コンサルタントのみなさんにご協力いただいています。そしてコンサルタントのみなさんは、ぜひ協議会のメンバーの声をできるだけいただきたいと言われていましたので、ご説明が終わりましたら、短くてけっこうですから、一言ご意見を頂戴したいと思えます。これもリモート、オンラインの会議の良さだと思えますので、よろしく願います。それでは事務局さっそく計画の策定についてのご説明をお願いします。

#### 事務局

近藤会長ありがとうございます。時間が14時までということで、時間が短くなって申し訳ないのですが手短かに説明させていただきたいと思えます。

(事務局説明)

#### 会長

あくまで、協議会なので、弁論大会ではないので、ご説明は要約して短く、そして参加者のご意見をいただくというところが、やはり参加型の一番の基本だと思えますので、大切にしていきたいと思います。

#### 委員

いろいろと地域の課題がたくさんある中で、国は、今、説明していただいた、すごく大きな枠で綺麗な話、こういった部分をどうしても国は言わざるを得ないというところが現状でございます。ただ、そういった大きな枠をまず一つの叩きにいただいて、加賀地域の中でどういうように地域公共交通を活かしていき、また、加賀のほうでは観光の部分、一生懸命やられているというように私は理解しておりますので、ぜひ地域の足を守りながら、観光のほうにも目を向けていただき、まさに公共交通を活性化していく、これはもうどうしても、今の様々な日本の問題を考えますと、どうしても観光客を取り込んで尚且つ地域の足を守っていく、これなかなか難しい話で

すが、やっていかなければいけないというところがございしますので、今回、計画に記載されている内容の方向性で私は素晴らしいと思っておりますので、ぜひ地域のご意見をしっかり受け止めて、これからコンサルなんかも入ってくるんだと思うのですが、あまりそういったところに丸投げするようなことはしないで、やはり行政がイニシアティブとり、地域の方たちの意見、これは必ずしっかり取り組んでいただく形で、みなさんでご議論いただいて進めていければと思っております。お願いいたします。

#### 会長

はい、ありがとうございました。たぶん皆様の思いを代表していただいて、やはり加賀市らしさ、そして、MaaSでも加賀市はどう考えるのか、みんなで参加する、楽しむ、そして域外と環境と連携する、というような加賀市らしさを短い言葉で一言、言ってしまう、それが市民の声ということで代表されると、あとは動き出すと思いますので、その魂をどう一言で言えるかということだと思います。次回までその言葉を練りましょう。お願いします。

それでは、ちょっと延びてしまって申し訳ありませんけど、議事、2つめはこれで承認ということによろしいですか。ありがとうございます。それでは承認ということさせていただきます。2つの議事が終わりました。事務局、その他の連絡事項ございましたらお願いいたします。

#### 事務局

はい、ありがとうございます。

連絡事項としてご共有させていただきます。

1点目が昨年度のMaaSの報告資料が、資料が膨大になりますので、皆様にお手元にお配りすることは叶わなかったんですが、今、イノベーションセンターにお越しの皆様におかれましては、資料を係員が持っておりますので、もし、ご覧になることを希望される方は、見ていただければと思っておりますので、またお声がけいただければと思っております。

2点目が乗り合い号の運行変更するにあたりまして、パンフレットの中身が大幅に変わるということがございます。こちらにつきましては、こちらのパンフレットは協議会で作っておりますので、協議会のほうで、必要な部分だけを作り直して配布するという形式をとりたいというふうに考えておりますので、あらかじめご承諾のほうお願いしたいと思っております。

3点目、今、イノベーションセンターですとか、このZoomの会議室については、まだ、繋げておくことが可能ですので、短い時間の中で聞けなかった事項等ございます方は、またお声がけしていただければ、このまま事務局のほうで回答させていただければと思います。いったん、協議会自体はこれで終了という形になると思いますので、このまま会長のほうにお返ししたいと思います。事務局から以上です。

#### 会長

はい、ありがとうございました。この利用者ガイドを私も見させていただいて、中に乗り合い号利用者さんスマホ教室のパンフレットが入っていて、これいいなあと思いました。乗り合い号とスマホ、スマートシティが結びついていくんですね。そして結びつくと必ず観光客、すべてが結びつくという、その連携するということが公共交通というインフラをみんなで作る意味なのですね。そうするとつながるんですね。そうすると市長さんが言われている思いがみんな形に

なろうということなので、それは域外から来られた方も感動して、この地域に住みたいとか、あるいは行ってみたいとかいう加賀市らしさです。加賀市らしさが無い限り MaaS といってもわかったつもりで終わりますから、MaaS って何というのを、自分たち考えて、言葉にして、日々実践できる、それを推進するのがこの協議会かなと思いました。でも一步一步、それに近づいてらっしゃるので、素晴らしいと思います。今回の改善もその一つです。スマートシティの一つだなあと思いました。ありがとうございます。

#### 委員

本日はどうもありがとうございました。

時間が過ぎていきますので簡潔にということで、今、高校生の一番近いところの駅、大聖寺駅と動橋駅、そして加賀温泉駅の魅力化という点で重要な市のキーワードとして、先ほど先生からご指摘がありましたように子どもたちにとって、ワクワク感、楽しみというのをキーワードにしながら新たな町のコミュニティの拠点に位置づけ、そして、そこにコラボするような公共交通のあり方というのを考えようと進めておりますので、ぜひご期待いただければと思います。時間がさまっておりますのでこれだけにしておきます。ありがとうございました。

#### 近藤会長

はい、ありがとうございます。ワクワク楽しい MaaS、公共交通ということでした。それでは事務局へ戻します。お願いします。

#### 事務局

会長ありがとうございました。長時間に渡りご審議ありがとうございました。  
本日の会議はこれをもって終了いたします。どうもありがとうございました。